

授業科目(ナンバリング)	日本文化論 (CA219)			担当教員	山内 美穂・佐野 香織		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>観光の研究にとって、さまざまな国や地域の異なる文化についての理解は不可欠である。しかし、そこに生を享けた、あるいは今そこで生きている、日本の文化に関する理解なくしては、異文化に対するまなざしは開けない。日本文化固有の魅力、あるいはまた他の文化と共通する側面や限界など、さまざまな角度から日本文化の多様で独自なあり方に迫っていくとき、日本文化のなかで生きる自分自身のアイデンティティも確認されてくることになるであろう。</p> <p>この授業では、歴史、言語、文化などの具体的な事例を通して、日本文化の諸相について論じる。</p>							①②④⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	日本文化の具体的事例を収集し、分析することができる。				レポート または課題	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	日本文化と他の文化のちがいを説明することができる。				定期試験	60%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>レポートまたは課題で40%、定期試験で60%を評価する。 レポート、課題に関しては授業中及び個別にフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>2名の教員によるオムニバス形式の講義をおこなう。各教員の専門分野に関する方法論と事例にもとづき、日本文化の魅力と課題を多角的に考察する。授業の中では「レスポ」を通じて各課のテーマについての考えや意見を述べたり、数人のグループでディスカッションをすることもある。「日本の話芸『落語』」か「俳句と川柳と日本社会」では実務家による講義も予定している。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。 参考書：授業中に適宜紹介する 指定図書：李御寧『「縮み」志向の日本人』講談社学術文庫</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>日本文化を理解することは異文化理解の第一歩であり、観光学を学ぶ上でも不可欠の課題である。教員の提示するそれぞれの視点と方法論、さらには取り上げる事例を通して、日本文化の多様で独自なあり方に触れて欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 導入	日本文化論の代表的なアプローチを紹介するとともに、講義全体の概要について説明する。(佐野)	「日本文化」に関する具体事例を挙げる。(予習)
2	生活の中に根づく日本文化 ① 食	日本の食文化の歴史を概観し、発酵文化に注目しながら、食文化に対する理解を深める。(佐野)	発酵食品の事例を挙げてくる。(予習)
3	生活の中に根づく日本文化 ② 住	日本の住まいに関して、間取りのことばと変遷に焦点をあてて解説し、日本の住文化について住居から考えていく。(佐野)	住居の間取りについて説明できるようにしてくる。(予習)
4	生活の中に根づく日本文化 ③ 精神性	日本人のメンタリティに焦点をあてた文献を概観し、昔話の側面から分析、理解を深める。(佐野)	知っている昔話のストーリーを話せるようにしてくる。(予習)
5	生活の中に根づく日本文化 ④ 仏教	仏教と日本文化に関する解説をするとともに、禅の思想と実践について理解を深める。(佐野)	これまでのテーマに関して、自分の事例と結びつけてレポート作成
6	生活の中に根づく日本文化 ⑤ 美意識	日本文化の美意識に関する文献を概観し、現代の「かわいい」文化について考える。(佐野)	「日本文化の中で「美」を感じるものを収集してくる。(予習)
7	生活の中に根づく日本文化 ⑥ ことば	文字・表記、表現の歴史からことばとしての日本語を概観し、多文化共生の中の「やさしい日本語」について解説・議論する。(佐野)	生活の中の「難しい日本語」を考えてくる。(予習)
8	わたしたちの中の日本文化	これまでの講義における「日本文化」を概観し、個々人にとっての「日本文化」を考える。(佐野)	「わたしと日本文化」のテーマでレポート作成
9	外来語と日本文化の変換	西洋文化の摂取に急いだ明治期の日本文化の特徴を外来語や和製漢語から解説するとともに、現代の外来語の氾濫についても考える。(山内)	外来語と和製漢語を抽出しておく(予習)。
10	日本文化はどう論じられてきたか	これまで日本文化はどのように論じられてきたのかを、さまざまな視点で書かれた日本文化論の書籍を十数冊紹介し、その内容について解説する。(山内)	授業の中で紹介する日本文化論の書籍の中から1冊を読み、それに対する自身の考えをまとめレポートを作成する。
11	日本の話芸「落語」	日本の代表的な話芸・落語の歴史を解説し、現在の落語文化を紹介。落語の「オチ」や大喜利などを通して、日本人の「ことば」の楽しみ方を考察する。(山内)(ゲストスピーカー・実務家)	落語の演目を見たり、聞いたり、体験したりする(復習)
12	俳句と川柳と日本社会	日本の定型詩である俳句と川柳について解説。その違いを知り、現代の俳句文化と川柳文化について理解を深める。(山内)(ゲストスピーカー・実務家)	俳句か川柳を詠んで提出する(復習)
13	日本の漫画・アニメ	漫画のルーツ「戯画」から話を起こし、風刺画と外国の影響、そしてストーリー漫画に至る漫画の歴史について解説。さらに、現代日本の漫画およびアニメ文化について考える。(山内)	海外での日本の漫画文化について調べておく(予習)
14	クールジャパン	外国人の人にとって本当のクールジャパンとは何なのだろうか。日本政府のクールジャパン戦略にも触れ、クールジャパンについて議論・考察する。(山内)	「クールジャパン」といえば何か、を考えてくる(予習)
15	まとめ	これまでの講義の中で扱ったトピックについて振り返り、日本文化の理解と異文化理解との関係について触れながら、日本文化論の課題を考察する。(山内)	試験準備
16	定期試験	筆記試験	筆記試験の準備